



は せ がわ ゆき こ
長谷川 幸子

に ほん きょう さん どう つ し ぎ だん
日本共産党津市議団

子ども医療費の窓口無料化の早期実施を

問 子ども医療費の窓口無料化については、子育て世代を応援し、安心して産み育てることができる社会への第一歩として、長年要求し続けてきた。

県下では既に鈴鹿市が実施しており、平成30年度には新たに10市町でスタートする。

県の無料化に対する姿勢や事務整備の問題等もあるが、県都である津市で実施することは大きな意味があるのではないかと。

答 国は、医療費の窓口無料化を実施する自治体に対して、国民健康保険の医療費助成に係る国庫負担金の減額調整措置を行ってきたが、平成30年度からは未就学児については当該措置の対象外とした。

そのため、津市でも未就学児までの窓口無料化を実施する方向で検討しているが、県は窓口無料化を実施した市町に対して、これまでどおり補助を継続していくことを決めていない。県が本来持つべき分を市が肩代わりすることは、財政規律を乱すことになる。

先日の市長と知事による一対一対談で要望を行ったところであり、窓口無料化を実施する場合の実務上の準備を進めていく。

●その他の質疑・質問●

○高齢者が安心して住み続けられる街づくりを

- 緊急通報装置の設置拡大を
- 熱中症対策を
- 孤独死をなくすために
- 外出支援事業の充実を

○平和の取り組みについて

- 戦跡など説明表示板の設置を
- 平和教育として戦争体験を聞く取り組みを
- 戦争資料等の常設展示を



▲戦跡等への説明表示板の設置を



くら た かん じ
倉田 寛次

し み ん
市民クラブ

徘徊SOSネットワーク津は機能しているか

問 平成28年4月から運用が始まっている徘徊SOSネットワーク津について、最近は個人情報保護への意識が強くなっていると思うが、現在の登録件数は。

また、早朝や夜間に事案が発生した場合のメール配信は朝7時以降となり、協力機関側も通勤時間と重なるなど、メールを見ないケースもあると思うが、これでネットワークが機能していると言えるのか。

答 この事業は、認知症の方が行方不明になった際に、携帯電話などのメール機能を活用し、あらかじめ家族等から提供を受けた、ご本人の身体的特徴等の情報を、地域包括支援センターなどの関係機関や、民生委員・児童委員などの協力機関として登録いただいている方に提供しているもので、平成29年8月現在、認知症の方の登録は114件、協力機関の登録は374件である。

深夜や早朝に、協力機関に情報提供を行っても、あまり効果は期待できないことに加え、協力機関の方の生活に支障を来すことも憂慮されることから、メール配信時間は、午前7時から午後9時までとしている。

今後、協力機関の登録者数を増やしていく必要があると考えている。

●その他の質疑・質問●

○報告第51号～第58号 交通事故等による損害賠償の額の決定に関わる、専決処分の報告について

○津市緊急告知ラジオ貸与事業について

○獣害対策について

○高齢者外出支援事業について



▲希望者は購入可能となる緊急告知ラジオ